# 【東京都】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ		
No 高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)	
1 東京都立一橋高等学校	昼夜間定時制	
○ 週2回のスクールカウンセラー (SC)、	ユース・ソーシャル・ワーカー (YSW)、月1回の学校精	
神科医の活用		
○ 学校設定科目(国語プラスワン、数学プ	ラスワン、英語プラスワン、わかる数学)	
○ 習熟度別授業、少人数授業(国語総合、	数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰ)	
○ 東京都教育委員会学び直し支援事業の活	用 ○大学研究室との連携(大学生ボランティア)	
2 東京都立大江戸高等学校	チャレンジスクール(三部制総合学科)	
○ 「わかるシリーズ」や「基礎シリーズ」	を学校設定科目として国語・数学・英語に設定し、義務教育	
段階の振り返りや高校段階の基礎力習得に	充てている。	
○ 都の施策である「校内寺子屋」(学力向」	上研究校)を導入して学び直しを行っている。	
3 東京都立荻窪高等学校	昼夜間定時制	
○ 授業時間外に、希望生徒を対象に退職ボ		
○ 1・2年次に数学と英語で1クラス2展	開の習熟度別授業を行っている。	
○ 不登校生徒の登校支援として、サポート	ステーションと協定を結び、居場所の確保をしている。	
4 東京都立八王子拓真高等学校	昼夜間定時制	
○ 自由選択科目に「わかるシリーズ(国語	・数学・英語・社会)」を設置	
○ 夏季休業中の特別講習(外部講師の活用	l) 4月実施の基礎力診断テストにおいて、D3 (学び直しが	
必要とされるランク)となった生徒を対象	として実施。	
5 東京都立浅草高等学校	昼夜間定時制	
○ 第1学年で習熟度別授業(数学)、少人数	- 枚教育の実施(国語、数学、英語)。	
○ 授業におけるICT機器の活用と補習		
○ トライゼミ (学校設定科目) により中学	校段階からの学び直し。	
6 東京都立荒川工業高等学校	夜間定時制	
○ 入学生の7割前後が不登校を経験してい	る。入学当初、始業は午後5時25分だが午後5時に登校させ	
20 分間国語、算数、時により英語に関して	ドリル学習をしている。	
7 東京都立雪谷高等学校	夜間定時制	
○ 始業前(16:00~17:00)の個別学習		
8 東京都立総合工科高等学校	夜間定時制	
○ 始業前の30分に、国・数・英の学び直し	この補習を実施。	
9 東京都立足立高等学校	夜間定時制	
○ 生徒の個々の状況に応じた指導を心がけ	、生徒の質問等に丁寧に対応している。	
10 東京都立蔵前工業高等学校	夜間定時制	
○ 1学年3教科(国語、数学、英語)で少	人数授業を実施し、学び直しの充実を図る。	
11 東京都立中野工業高等学校	夜間定時制	
○ わかる授業の実施として、ICTパソコ	ンを使用した授業の実践。	
○ 国語や数学などは、始業前に基礎学力を	つける補修など。	
○ 学期ごとに試験終了後放課後を使い補修	を行う。	
12 東京都立六郷工科高等学校	夜間定時制	
○ 小中学生の学習内容を振返り学習ができ	る「ベーシック」科目を選択科目として設定している。	
○ ICTを活用して、わかりやすい授業を	展開している。	
○ YSWやSCが定期的に勤務する。		
13 東京都立板橋有徳高等学校	夜間定時制	
○ 習熟度別授業(国語、数学、英語) 少	人数多展開授業(理科、情報、体育、総合的な学習の時間)	
○ 長期休業中の補習・講習		
○ 定期テスト前等に行う補習		

14	東京者	『立福生高等学	校			夜間定時制		
	不登校や中途追	学を経験した	生徒のみなり	らず、基礎学	力が十分に	身についてレ	いない生徒に	対して、長
期	休業中に補講を	行っている。	(国・数・英	)				
	教科によっては	上、放課後補講	を行っている	5。				
15	東京者	『立豊島高等学	校			夜間定時制		
0	生徒により個人	差が大きい。	不登校等が	短期で学習の	遅れが軽度の	の者には、て	ごきるだけプ	リント学習
を	中心に、一斉指	4導の中でグル	一プワーク等	等により生徒	同士の交流を	を生み出すよ	う努めている	)。
$\bigcirc$	不登校等が長期	目にわたる場合	は、学力の過	星れがはなは	だしい。この	つ場合は個別	に指導する必	公要があり、
長	期休業中に補習	講座を設けて	学力の補充に	こ努めている	0			
16	東京都	立南葛飾高等等	学校			夜間定時制		
0 :	週1回の「ケー	-ス会議」によ	る教員間の情	青報共有、「丿	└権Ⅰ」(第1	L学年必履修	)、「人権Ⅱ」	(第4学年
必	履修)の学校部	定教科、SC	や学校精神	科医等の専門	職との連携	、都のグルー	ープエンカウ	ンターの活
用	等							
17	東京都立	<b>Z本所工業高等</b>	学校			夜間定時制		
0	第1学年で少人	、数教育の実施	。一クラスを	をABと2つ	に展開し、	国語総合 2	2 単位、数学	I 2単位、
コ	ミュニケーショ	ン英語基礎	3単位の3利	斗目を組み合	わせて展開し	している。		
	火	水		木		金		ı
	A 国語総合	コミュ英語	数学 I	コミュ英語	数学 I	コミュ英語	国語総合	ı
	B コミュ英語	国語総合	コミュ英語	数学 I	国語総合	数学 I	コミュ英語	ı

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ			
No 高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)		
1 東京都立一橋高等学校	昼夜間定時制		
○ SC (週2回)、YSW (週3回)、学校 部公的関係機関との連携	情神科医(月1回)の活用、合理的配慮、支援員の配置、外		
2 東京都立大江戸高等学校	チャレンジスクール(三部制総合学科)		
○ 都の施策である自立支援チームを活用し、	教育支援コーディネータが担任と連携(教育支援委員会)し		
てYSW、SSW、SC、巡回相談員、精神	神科医、外部関係団体と協力し、生徒・保護者へ就学支援、		
進路支援等を行っている。			
○ 中学校や適応指導教室等と入学前に情報を	交換を行っている。		
○ 1年次は二人担任制を採っている。			
3 東京都立荻窪高等学校	昼夜間定時制		
○ 自立支援チームを活用し、自立支援、就労支援等に関係機関と連携して指導している。			
○ 自立経営予算で、SCを1名増員し、教員とSCで家庭を訪問してのカウンセリングを可能としてい			
3.			
1	O法人と協定を結び、コミュニケーション力の育成及び居場		
所の確保をしている。			
4   東京都立浅草高等学校	昼夜間定時制		
1	W3名、自立支援担当教員、教育相談委員、特別支援教育コ		
ーディネーター)	and the land of the		
○ 東京都教育委員会のコミュニケーションプ			
○ 自立支援担当教員や養護教諭による精神和			
5 東京都立五日市高等学校	夜間定時制		
○ 都教育委員会からSCとYSWの派遣を受けている。さらに学校教育心理士にも定期的に来校しても			
らい、特別支援教育コーディネーター、自立支援担当教員及び養護教諭等がそれぞれの立場で生徒の状			
	しながら卒業後を見据えた指導を行い、進路実現に向けて丁		
寧な指導を行っている。			

6	東京都立荒川工業高等学校	夜間定時制
$\circ$	身体的に特別な支援を必要とする生徒はい	ハないが、知的支援を必要とする生徒はいる。現在施設から
ì	通っているが、卒業と同時に施設を出なける。	ればならない。施設の担当者、本校進路指導部、ハローワー
2	かと連携し現在就労に向け指導している。	しかし、現在の生活で不都合なことが全くないので、本人の
	自覚が芽生えないことが課題である。	
7	東京都立神代高等学校	夜間定時制
$\cap$	1	育支援員が配置されて授業内での学習支援を行っていた。平
_		F常勤介護職員による学習支援が行われている。 定期考査は、
		亥当生徒用の定期考査対策プリントを各教科で作成している。
	おむつを交換するために、リクライニングに	
8	東京都立雪谷高等学校	夜間定時制
0	外部担当者(児相・区役所等)と担任及び	Į
9	東京都立総合工科高等学校	夜間定時制
	始業前の30分に、国・数・英の学び直し	
10	東京都立足立高等学校	夜間定時制
		Į
11		生徒の負向寺に丁亭に対応している。   夜間定時制
11	東京都立蔵前工業高等学校	1
		な支援を必要とする生徒への支援について、SC及びYSW、
	青神科医等を交えて学習ニーズに応える工夫 	
12	東京都立六郷工科高等学校	夜間定時制
0	車椅子の生徒の為に、玄関にスロープを記	役置した。
0	YSWやSCが定期的に勤務する。	toward the second
$\circ$	キャリア教育を入学当初より行い、進路技	旨導を実施している。
13	東京都立板橋有徳高等学校	夜間定時制
13	特別支援教育コーディネーターを中心とし	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議
	特別支援教育コーディネーターを中心とし スクールカウンセラーによる教員への支持	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議
0	特別支援教育コーディネーターを中心とし	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議
00	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支持 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議
000	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支持 ハローワークとの連携による就労支援	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議 援
0000	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支持 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議
<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>14</li></ul>	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支持 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議 爰 夜間定時制
<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>14</li></ul>	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校	で、特別支援教育推進委員会によるケース会議 変 夜間定時制 アセラーによる全員面接を行っている。
0 0 0 0 0	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支持 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン	で、特別支援教育推進委員会によるケース会議 変 夜間定時制 レセラーによる全員面接を行っている。
0 0 0 0 14 0	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン 週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議 爰  夜間定時制  レセラーによる全員面接を行っている。  を活用して面談を行っている。
0 0 0 0 14 0 15	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン 週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議 爰  夜間定時制  レセラーによる全員面接を行っている。 を活用して面談を行っている。 夜間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられな
0 0 0 0 14 0 0 15 0	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン 週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授	して、特別支援教育推進委員会によるケース会議 爰
0 0 0 0 14 0 15 0	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン週1日であるが、スクールカウンセラーを東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授予、ノートを取ることも個別に指導されない。	でできない。 で間定時制 でおりて、特別支援教育推進委員会によるケース会議 を間定時制 でおりている。 を活用して面談を行っている。 を間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられなければできない。 る工夫をしている。
0 0 0 0 14 0 15 0	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授業 い。ノートを取ることも個別に指導されない ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即	でできない。 で間定時制 でおりて、特別支援教育推進委員会によるケース会議 を間定時制 でおりている。 を活用して面談を行っている。 を間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられなければできない。 る工夫をしている。
0 0 0 14 0 0 15 0 0	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授業 い。ノートを取ることも個別に指導されない ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即	でできない。 はおりは、大きない。 は、大きない。 は、大きない、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
0 0 0 14 0 0 15 0 0	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン 週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授業 へ、ノートを取ることも個別に指導されない ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即 テストでも、できるだけ選択肢を多くする	でできない。 はおりは、大きない。 は、大きない。 は、大きない、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授い。ノートを取ることも個別に指導されない ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即 テストでも、できるだけ選択肢を多くする 表えれば、もとより同じ教室で授業を行き 東京都立南葛飾高等学校	ででは、特別支援教育推進委員会によるケース会議を関する。 を活用してはる全員面接を行っている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられなければできない。 の工夫をしている。 なり組みは全教科に浸透している。 るように工夫している。しかし一般生徒の学力定着のニーズをことに無理が生じている。 を間定時制
	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授予、ノートを取ることも個別に指導されなけ、ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即 テストでも、できるだけ選択肢を多くする を考えれば、もとより同じ教室で授業を行き 東京都立南葛飾高等学校 SCによる面接の実施、教育相談委員会に	で間定時制 でもうっている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられなければできない。 る工夫をしている。 なり組みは全教科に浸透している。 るように工夫している。しかし一般生徒の学力定着のニーズのことに無理が生じている。 を間定時制 こよる週1回の「ケース会議」の開催による担任・養護教諭・
	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授い。ノートを取ることも個別に指導されない ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即 テストでも、できるだけ選択肢を多くする 支考えれば、もとより同じ教室で授業を行き 東京都立南葛飾高等学校 SCによる面接の実施、教育相談委員会に 青神科医等との情報共有、児童相談所・区で	ででは、特別支援教育推進委員会によるケース会議を関する。 を活用してはる全員面接を行っている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられなければできない。 の工夫をしている。 なり組みは全教科に浸透している。 るように工夫している。しかし一般生徒の学力定着のニーズをことに無理が生じている。 を間定時制
	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援 ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン 週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授業 い。ノートを取ることも個別に指導されなけ ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即 テストでも、できるだけ選択肢を多くする を考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを考えれば、もとより同じ教室で授業を行うを表している。	ででは、特別支援教育推進委員会によるケース会議を関する。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられなければできない。 まてまをしている。 なり組みは全教科に浸透している。 るように工夫している。しかし一般生徒の学力定着のニーズのことに無理が生じている。 を間定時制 による週1回の「ケース会議」の開催による担任・養護教諭・役所担当課等外部機関との連携、都のコミュニケーションア
	特別支援教育コーディネーターを中心としスクールカウンセラーによる教員への支援ハローワークとの連携による就労支援 YSWの活用 グループ・エンカウンターの活用 東京都立福生高等学校 入学後1年生に対しての、スクールカウン週1日であるが、スクールカウンセラーを 東京都立豊島高等学校 各学年、クラスに数名ずついる状況。授い。ノートを取ることも個別に指導されない ノートに書き写す内容は精選し少なくする 板書事項や配布プリント等にルビを振る即 テストでも、できるだけ選択肢を多くする 支考えれば、もとより同じ教室で授業を行き 東京都立南葛飾高等学校 SCによる面接の実施、教育相談委員会に 青神科医等との情報共有、児童相談所・区で	で間定時制 でもうっている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を活用して面談を行っている。 を間定時制 業は静かに聞いている。しかし質問にはほとんど答えられなければできない。 る工夫をしている。 なり組みは全教科に浸透している。 るように工夫している。しかし一般生徒の学力定着のニーズのことに無理が生じている。 を間定時制 こよる週1回の「ケース会議」の開催による担任・養護教諭・

(	3) 外国籍生徒、日本語の指導が	必要な生徒の学習ニーズ
No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)
1	東京都立一橋高等学校	昼夜間定時制
$\circ$	取り出し授業(国語総合、日本史A、世界	界史A,現代社会)
$\circ$	学校設定科目(日本語文法、日本語コミニ	
$\circ$	配布物の漢字へのルビ振り〇 東京都教育	育委員会日本語指導外部人材活用事業の利用
0	大学研究室との連携(大学生ボランティブ	
2	東京都立荻窪高等学校	昼夜間定時制
0		受業またはT. T. 授業の非常勤講師をつけている。
3	東京都立八王子拓真高等学校	昼夜間定時制
0	日本語指導員による、授業の空き時間を活	
4	東京都立江戸川高等学校	夜間定時制
0	1年生「国語総合」(2単位)において取	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	において、日本語指導の講座を開設している。
		ている。入学者選抜に準じて希望者には辞書持ち込み(学校
_	で準備)も認めている(時間延長等の措置) 「東京都立芸川工業京祭学校	
5	東京都立荒川工業高等学校	夜間定時制
		指導を必要としている。外部人材活用事業に申請し、日本語   まった曜日に、始業前2時間日本語指導を行っている。
6	国等をお願いしている。 取出してなく、次。 東京都立神代高等学校	よりに曜日に、如来前 2 時间日本語指導を行う C いる。 夜間定時制
	東京都立州人同寺子仪   平成28年度は、中国籍の生徒に日本語	
7	東京都立雪谷高等学校	日等員で配置して対応した。 夜間定時制
	宋宗都立当行同寺子仪   定期考査のルビ振り問題作成(国語・1~	
	始業前 (16:00~17:00) の日本語学習	0 十工/
8	東京都立足立高等学校	夜間定時制
0	l	F生の国語と1~2年生の社会で、取り出し授業の実施
9	東京都立中野工業高等学校	夜間定時制
0	日本語指導として、始業前に補習を行う。	VIII.
10	東京都立大森高等学校	夜間定時制
	国語科及び社会科の授業において、日本	語指導が必要な外国籍の生徒を対象に、時間講師による取り による取り
	出し授業の実施	
11	東京都立六郷工科高等学校	夜間定時制
$\circ$	日本語外部指導員を配置して、定期的に	数科指導の補助や日本語指導を行っている。
$\circ$	日本語検定に向けて、テキストを元に指導	尊を行い、能力向上へ努力させている。
12	東京都立板橋有徳高等学校	夜間定時制
$\circ$	日本語指導外部人材活用事業の利用	
13	東京都立福生高等学校	夜間定時制
$\circ$	板書や試験問題にルビをふっている。	
$\circ$		いる。基本1年生のみ条件つきで行っている。今年度は、大
7	学生や大学院生が応募してきて生徒との関係	,, , , , , , , ,
14	東京都立豊島高等学校	夜間定時制
		受業は静かに聞いている。質問にはわかる範囲で答えること
1	-	正確に早く書き写すことができない。ノートに書き写す内容
		事項や配布プリント等にルビを振る取り組みは全教科に浸透
<del></del>	している。   東京都立東豊松京祭吟校	ナロロ (中本) 本人の日
15	東京都立南葛飾高等学校	夜間定時制
$\bigcirc$		業、日本語指導外部人材活用事業の活用による日本語指導員
(	こよる学習指導補佐、配布物へのルビ振り	

16	東京都立本所工業高等学校	夜間定時制
$\circ$	1回90分間、始業前に日本語指導員か	5日本語(漢字)の指導を受けている。

(	(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ				
No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)			
1	一橋高等学校	昼夜間定時制			
0	SC(週2回)、YSW(週3回)の活用				
0	外部公的関係機関との連携				
2	荻窪高等学校	昼夜間定時制			
0		区市町村の福祉関係機関等と連携して指導している。			
0		は、近隣の子供食堂を利用できるように、協定を結んでいる。			
3	東京都立浅草高等学校	昼夜間定時制			
		を中心に情報共有。内容によって、自立支援担当教員から児			
		村福祉事務所との連携、担任を通して中学校からの情報収集			
		最も必要な支援が受けられるよう取り組んでいる。 			
4	東京都立荒川工業高等学校	夜間定時制			
, J		数あるとみられる。食生活に課題があり、給食が唯一の栄養			
		たちが少しでも家庭をサポートできるように、と指導してい			
	3。	又得し、より良い条件の会社に就職することを期待する。 			
5	) 1444Hi — 111 (114 4 4 4 124	夜間定時制 成人している生徒が生活保護の認定を受けて、経済支援さ			
		<ul><li>成八している主徒が主活保護の認定を支げて、経済又援さた、体調不良であったがその後の生活も安定させることがで</li></ul>			
	でなことにより平来することがてさた。また きた。	こ、仲調小良にめつたかでの後の生情も女足させることがで			
6	東京都立足立高等学校	夜間定時制			
0	落ち着いて学習に取り組めるようにYSV	Vを活用して福祉につなげている。			
7	東京都立蔵前工業高等学校	夜間定時制			
0	月1回のYSW訪問にて、教委職員とYS	SWとの情報交換を実施。必要な状況となれば、生徒の居住			
_	する地区の団体や、福祉につなげ学習を支持	爰していく			
8	東京都立中野工業高等学校	夜間定時制			
0	進路指導部中心にアルバイトの促進。				
9	東京都立六郷工科高等学校	夜間定時制			
0	生徒や保護者からの相談にYSWを介して	て、関連機関へつなげている。			
0		を集めて、就職やアルバイトのサポートをしている			
10	東京都立八王子拓真高等学校	夜間定時制			
0	授業料が無料となる「就学支援金」				
0	教育活動に参加するための必要な経費が引				
0	授業料以外の教育費負担を軽減するために				
11	東京都立板橋有徳高等学校	夜間定時制			
0	給付型奨学金(定時制課程在籍生徒の受給				
0	就学支援金(同約8割)、奨学のための給				
12	東京都立福生高等学校	夜間定時制			
		校内で情報交換会を開き、YSWにつなげたほうがいい生			
_ `	ま等検討して、現在数名の生徒が面談をして な、ス合業が関き焦却の世界が図っている。	-			
12	ケース会議を開き情報の共有を図っている				
13	東京都立南葛飾高等学校	夜間定時制			
O ř	○ 週1回実施する教育相談委員会の「ケース会議」、児童相談所・区市の福祉関係機関との連携、進路指導部とハローワークとの連携によるアルバイト紹介、経営企画室との連携による就学支援金や給付型奨				
<u> </u>	<sup>鼻前とハローリー</sup> クとの連携によるアルハッ 学金の活用	1 1 加川、性音正四王とツ建病による肌子又抜並で和刊至哭			

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ		
No 高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)	
1 東京都立一橋高等学校	昼夜間定時制	
○ SC (週2回)、YSW (週3回) の活	用	
2 東京都立荻窪高等学校	昼夜間定時制	
○ 非行や犯罪等で警察から連絡があった生	E徒や特別指導の対象になった生徒は、必ずSCとのカウンセ	
リングを行い、心理面の課題があれば、	S C と連携し、指導を行うことにしている。	
3 東京都立浅草高等学校	昼夜間定時制	
○ 担任が非行歴・犯罪歴を有する情報を力	、手できた場合、自立支援担当教員と連携して、どんなことを	
配慮すべきか、家庭に対して何か支援でき	ることがあるかなどを個別具体的に検討する。	
○ 在学中の非行や犯罪については警察やり	記童相談所などと連携し、学校復帰の可否や支援体制を自立支	
援担当教員・担任を中心に個別具体的に根	食計する。	
4 東京都立足立高等学校	夜間定時制	
○ 生徒個々の状況に応じた指導を心がけ、	生徒の質問等に丁寧に対応している。	
5 東京都立六郷工科高等学校	夜間定時制	
○ 生徒の情報を生徒保健部中心に、自立る	を接会議等にて、共有化してサポートしている。	
○ YSWへも情報共有を図り、外部機関	さも連携して対応している。	
6 東京都立南葛飾高等学校	夜間定時制	
○ 警察・家庭裁判所・少年院等外部機関と	の連携、担任による鑑別所・少年院等矯正施設への面会、保	
護司・保護観察官等と担任との情報共有、SCとのカウンセリング、担任による複数回にわたる家庭訪		
問での精神的ケア		

### 【神奈川県】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 神奈川工業高等学校 夜間定時制

標題とは異なるが、確かな基礎学力の定着を目指した支援に取り組んでいる。漢字の書き取りと数学の計算課題のプリント学習をホームルーム開始前の時間に学級担任が指導している。学年全体の取り組みとして定着している。

2 神奈川県立横浜翠嵐高等学校 夜間定時制

学習の遅れによる学び直しのニーズと3修制による卒業希望に同時に応えるため、1年次の月曜日0・1限に英語入門、火・水曜日0限に数学入門、木・金曜日の0限に国語入門という、それぞれ2単位の学校設定科目を、自由選択科目として設置している。

3 横浜修悠館高等学校 通信制

平日講座、日曜講座、IT 講座の区別なく、月・木の5校時にレポート完成講座を設定している。 その他、日曜講座の受講生に教科総合・科目総合スクーリングを設けている。

学び直しが必要な者は、トライ教室において随意に学習することができる。

4 磯子工業高等学校 夜間定時制

1年次の学校設定科目として「漢字のこころ」「わたしたちの数学」「たのしい英語」を開講し、 振り返り学習を行っている。卒業認定に必要な単位修得の対象としている。

5 磯子工業高等学校 夜間定時制

県の定時制・通信制教育推進のための学習サポート員配置事業を活用し、授業前・授業後等に 学習面での補習を行っていた。(平成29年度)

6 磯子工業高等学校 夜間定時制

県の定時制・通信制教育推進のための学習サポート員配置事業を活用し、2~4年次選択科目「数学一般」の授業で、理解が十分でない生徒に学習支援業務の補助を行っていた。(平成29年度)

7 川崎高等学校 夜間定時制(フレキシブルスクール)

数学と英語の一部授業においては、小集団習熟度別授業を実施している。

学習サポート員が放課後に週3日間、学習室に在中し、様々な生徒の学習ニーズに合わせた 補習を行っている。

担任の他に、自分で選ぶもう一人の担任「チューター制」を導入し、履修指導や進路指導にきめ細やかな指導を行い、日常の学習活動につなげている。

NPOと慶応大学の学生が中心となって運営する、居場所作り「カフェ活動」に取り組んでいる。
・SC, SSW の拠点校として、相談しやすい環境づくりに努め、学習における「困り感」の早期発見と情報共有を図っている。

8 横須賀高等学校 夜間定時制

学習意欲の向上と生活リズムの確立を目指し、年度当初に5日間モジュール授業を実施している。

夏季休業中に希望制で補習授業を実施している。

9 秦野総合高等学校 夜間定時制

夏季休業中に希望者による講習や補習等を実施している。

10 秦野総合高等学校 夜間定時制

1年生の「総合的な学習の時間」では、「学び直し科目」として国語、数学、英語、社会、 理科の3科目で、中学校の内容の復習プリントを作成し、実施している。

### 11 伊勢原高等学校 夜間定時制

「学び直し」を目的とした学校設定科目「マルチベーシック」を開講し、国語、数学、英語について、個別の「学び直し」に対応した学習を行っている。また、この科目は、基礎学力の定着を図るため、 $1\sim4$ 年生まで毎年選択できるようにしている。

1年生の国語、数学、英語の科目については、ティーム・ティーチングで授業を行い、学習 内容の理解が不十分な生徒の支援を行っている。

### 12 小田原高等学校 夜間定時制

中学校等での不登校を経験している生徒が多いので、1年次生の前期に国語総合、数学 I 及びコミュニケーション英語 I においてマナトレという教材を使用して、中学校からの学び直しから、授業に入るようにするとともに、数学 I 、コミュニケーション英語 I は、1 クラス 2 展開の小集団で授業をし生徒に対して、きめ細かい指導ができる体制をとっている。

#### 13 小田原城北工業高等学校 夜間定時制

1年の数学に学校設定科目の「高校数学入門」を開講し、振り返り学習を実施している。

### 14 小田原城北工業高等学校 夜間定時制

工業科の実習科目や数学など、必要に応じて学習サポート員を置いて、支援が必要な生徒に個人指導を行っている。

#### 15 相模向陽館高等学校 昼間定時制

学校設定科目「ステップ」(必修)を開講し、「読む」「書く」「聞く」を中心とした振返り 学習を行っている。

### 16 相模向陽館高等学校 昼間定時制

ライフスキルを身につけ、より良い人間関係を探求するため、学校設定科目「すこやか」(必修) を開講している。

### 17 | 津久井高等学校 夜間定時制

学習が遅れがちな生徒に対する授業支援連携 NPO 法人が派遣する大学生ボランティアが、 主として数学の授業で、学習が遅れがちな生徒に対して個別の学習支援を行っている。大学生 ボランティアは校内カフェ活動等にも参加しており、日常的な関係づくりを行っているため、 生徒は質問しやすい環境にある。

### 18 横浜明朋高等学校 昼間定時制

学校設定科目:英語入門・数学入門・国語入門(1年次)ベーシック英語・ベーシック数学(2年次)を開講し、学び直し学習を行っている。

地域の方に学習支援員として授業に入っていただき学び直しの支援をしている。

# (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 神奈川工業高等学校 夜間定時制

車椅子を使用しながら、卒業を目指し学校生活を送っている生徒への就職支援である。外部機関と連携を取りながら進めている。担任と家庭が実情を把握し、SSW が外部機関と連絡を取り合い、その結果を学内で共有し進路実現に結びつけている。

#### 2 神奈川県立横浜翠嵐高等学校 夜間定時制

教頭と教育相談コーディネーターと養護教諭が月に2・3回定期的に情報交換し、当該生徒の 状況に応じてSC、スクールソーシャルワーカー、県の関係相談機関、県立養護学校などと連携し、 担任とともに適切な支援を行えるようにしている。

教育相談コーディネーターが中心となり、必要に応じてケース会議を行い、教頭と養護教諭と 当該生徒の学年の教員並びに教科担当などが情報を共有し、適切な支援を検討し、行っている。 また、年に2回全教員で生徒情報交換会を行い、必要に応じて情報を共有し、適切な支援を 行えるようにしている。

#### 希望ケ丘高等学校

夜間定時制

発達障害等が考えられる生徒に対して特別支援学校の職員と連携して対応した。また、ユニバー サルデザインの考えを取り入れた授業のあり方について、特別支援学校の職員を講師として 職員研修会を行った。

### 横浜修悠館 高等学校

通信制

教育相談学習支援グループを中心にSC・SSWと密に連絡を取り、外部機関や就労支援に 繋げている。「気になる生徒」をデータベースに登録して、全職員で情報共有している。また、 学校全体として「修悠館スタンダード」を実践し、学校のユニバーサルデザイン化に取り組んで いるほか、「悠ルーム」におけるクールダウンや精神科校医による個別相談を実施している。

#### 磯子工業 高等学校

夜間定時制

小学3年で特別支援級に通う子をもつ生徒(母)について、生徒本人も精神疾患・腎臓疾患を 抱えており、児童相談所主催の要対協個別検討ケース会議に子の預かり施設である子ども家庭 支援センターを初めとして区役所、小学校とともに参加(担任・SSW)している。

### 向の岡工業高等学校の大学を開から

発達に課題があり、特別な支援を必要とする生徒で、就職を希望していながら思うような結果 が出ない場合には、SSW等と協力しながら、障害者就労支援機関等への紹介を適切な時期を 見計らって実施している。

向の岡工業高等学校

夜間定時制

生徒向けの配付物は、できる限りルビ付きにしている。

#### 横須賀高等学校

夜間定時制

個別学習を行い、基礎的な学習に取り組んでいる。生徒の状況に応じては、生活単元学習の 内容を取り入れることがある。

特別支援学校の巡回相談を活用し、支援についてのアドバイスを受けている。

学習サポート員に授業に入ってもらい、TTで支援している。

### 9 神奈川県立追浜高等学校 夜間定時制

1~3学年ではTT授業を行い、T2 (教科担当教諭以外) が授業中の質問に対し積極的に 対応している。

### 湘南高等学校

夜間定時制

特別支援学校の巡回訪問を利用し、指定した生徒の授業観察をした後にケース会議を実施し 生徒の見立てや具体的な指導についてアドバイスをもらっている。

11 茅ケ崎高等学校 夜間定時制

文字の書き取りや 1 桁の数の足し算が困難な生徒に関して、学習サポート員が授業中机横に ついて、授業内容に応じた支援を行っている。

#### 平塚商業高等学校

夜間定時制

保護者をはじめ、SC・SSW・市の福祉課等と連携し、手帳の取得を支援している。また、就職等 の進路に関しては、職業訓練所の見学や入所を支援し、個々の状況に応じた対応を行っている。

#### 秦野総合高等学校

| 夜間定時制

特別支援学校(養護学校)と連携し、年に数回専門職による支援方法等のアドバイスをいた だいている。また、場合によってはケース会議等を開催し、支援方法と情報共有を図っている。

#### 秦野総合高等学校

夜間定時制

月に1~2回来校するスクールカウンセラー (SC) を活用している。また、担任、養護教諭、 教育相談コーディネーターの担当者による支援体制を確立している。

#### 伊勢原高等学校

|夜間定時制

筋ジストロフィーの生徒について、体育の取り出し授業を行い、教員と1対1で授業を行って いる。また、所属クラスの教室を1階にして、移動に負担がないように配慮している。

小田原城北工業高等学校 |夜間定時制

工業科の実習科目や数学など、必要に応じて学習サポート員を置いて、支援が必要な生徒に 個人指導を行っている。

小田原城北工業高等学校 |夜間定時制

1年の数学に学校設定科目の「高校数学入門」を開講し、振り返り学習を実施している。

厚木清南高等学校

| 夜間定時制(フレキシブルスクール(特別な時間))

広汎性発達障害で、療育手帳(B2)取得している生徒に対して、週29時間の介助員を お願いした。実技やグループワークを行う授業の補助や生活介助をお願いしている。

19 相模向陽館高等学校 早間定時制

識字障害(読み書き障害)の生徒のために、独自の教材や試験を取り入れた。

相模向陽館高等学校

生徒相談グループとキャリアガイダンスグループの連携により生徒個々の特性に応じた就職 支援を行っている。

神奈川総合産業高等学校

夜間定時制 21

肢体不自由の生徒に対し、保健体育(体育)の授業において特別に教員を配置している。

神奈川総合産業高等学校

夜間定時制

ケース会議を開催し、教育相談コーディネーターとスクールソーシャルワーカーと連携し、 外部相談機関につなげている。

津久井高等学校

夜間定時制

発達障害の生徒(ADHD、福祉手帳2級所有)に対する進路支援

育てる(発達促進的・開発的)教育相談として、ケース会議で、問題行動は無いが進路実現が 不安な発達障害の生徒の進路指導について検討した。その結果を、担任教員・就職担当教員・ 保護者と共有し、ハローワーク・さがみはら若者サポートステーションと連携しながら進路 活動を行っている。

津久井高等学校

夜間定時制

高齢者・中高年者に対する体育の授業支援

定時制・通信制教育推進のための学習サポート員配置事業を活用して、保健体育の教員免許 を有した学習サポート員を雇用し、高齢者・中高年者が在籍するクラスの授業支援を担当して もらった。高齢者や中高年者へは個別の支援を行っており、生徒の授業参加状況は良好である。

生徒の特性を踏まえ、授業の際に全職員が共通して取り組む「めいほうメソッド」を策定し、 授業のユニバーサルデザイン化を推進している。

三浦初声 高等学校

昼間定時制

SC・SSW等と連携し、特別支援学校の巡回相談などのアドバイスを受け、生徒に応じた対応を 行っている。授業では、非常勤講師時間をもらい、取り出し授業を行っている。

# (3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制) No

神奈川工業高等学校

夜間定時制 学習支援員を非常勤職員として雇用し、支援を行っている。授業時にクラスに入り直接支援を

行うケースと日本語能力検定受検をめざした補習を行うケースがある。

神奈川県立横浜翠嵐高等学校 | 夜間定時制

日本語学習のニーズと3修制による卒業希望に同時に応えるため、1年次の月曜日1限と火 ~金曜日の0限に5単位の日本語入門Ⅰ、2年次の火~金曜日の0限に4単位の日本語入門Ⅱ、

3年次の火・水曜日の0限に2単位の日本語入門Ⅲ、という学校設定教科「国際」の学校設定科目を自由選択科目として設置している。日本語入門Ⅰは、初級と中級と上級の3クラスで、日本語入門Ⅱは、初・中級と上級の2クラスで展開している。

1・2年次の国語総合と、1年次の日本史A・現代社会・科学と人間生活・保健の授業を 2クラス同時限に設置し、日本語母語クラスと要日本語支援クラスに分けて実施している。

要日本語支援生徒の教科担当者会議を定期的に開催し、要日本語支援生徒の日本語習熟の 状況を確認し、日本語母語クラスに戻る見極めや、年度当初のクラス分けの検討を行っている。 また、校長・副校長・教頭・各分掌グループ代表(総括教諭)・養護教諭・各学年の外国につな がる生徒担当による、外国につながる生徒支援連絡会議も開催し、外国につながる生徒に関する 情報を共有し、適切な支援を行えるようにしている。

校務分掌として、外国につながる生徒支援の正・副担当計2名を配置している。県が配置した多文化教育コーディネーターと協働し、県や国が行う外国につながる生徒支援関連事業を積極的に活用している。三者面談、学校説明会、入学者説明会時には通訳の方に、1年次の保健、科学と人間生活の授業には学習支援員の方に来校していただき、担当教員とともに要日本語支援生徒を支援している。また、多文化共生研究会という文化部があり、毎週月曜日の0限と放課後の時間帯に顧問教員と多文化教育コーディネーターが協働し、勉強会や季節のイベントを行い、日本語や教科の難しいところを勉強したり、外国につながる生徒同士が情報交換をしたり、日本語が母語である生徒と交流したりしている。

### 3 希望ケ丘高等学校 夜間定時制

1 年生では「国語総合」、「保健」については取出し授業、「科学と人間生活」、「地理A」については入り込み授業を行った。特に日本語の理解が困難な生徒に対しては一部の科目で通訳者についてもらっている。

### 4 横浜修悠館高等学校 通信制

学校設定教科:国際「日本語」、キャリア:「キャリア活動」を設置してスクーリングを実施するとともに、多文化教育コーディネーターや担当教員が日常生活も含めた支援にあたっている。

### 5 磯子工業 高等学校 夜間定時制

2~4年次の選択科目に学校設定科目「日本語入門」「日本語初級」「日本語発展」を置き、 必要に応じて順番に受講できるようにしている。卒業認定に必要な単位修得の対象としている。

### 6 磯子工業 高等学校 夜間定時制

国語総合、現代社会、世界史A、地理A、科学基礎、科学と人間生活、保健の必履修科目で必要に応じて取出し授業を行っている。さらに必要に応じて、県の定時制・通信制教育推進のための学習サポート員配置事業を活用し、授業支援や日本語支援を行っている。

### 7 磯子工業 高等学校 夜間定時制

県の支援対象校に申請し、多文化教育コーディネーターをつけてもらった上で、日本語を母語としない生徒支援者派遣事業及び外国につながりのある生徒への学習支援員派遣事業を活用し、必要に応じて「産業教育と人間」「総合的な学習の時間」等に通訳を派遣してもらっている。

### 8 川崎高等学校 | 夜間定時制(フレキシブルスクール)

入学時に「生徒支援カード(国籍や海外での生活経験等を記入)」を記入し、希望者には日本語習得状況診断テスト(プレイスメントテスト)を実施するなど、入学時における生徒一人ひとりの状況を情報共有している。

国語と地歴の一部教科では、個別取り出し授業を行っている。

三者面談や履修指導においては、通訳支援を行い、日常の学習活動につなげている。

サポートティチャーが進路室に在中し、様々な生徒の学習ニーズに応じた相談を行っている。 SC, SSW の拠点校として、相談しやすい環境づくりに努め、学習における「困り感」の早期 発見と情報共有を図っている。

行事予定等のすべての配付物はルビ付きにしている。

9 向の岡工業高等学校	夜間定時制
支援が必要な特定の科目について、取り	出し授業を行っている。
10 向の岡工業高等学校	夜間定時制
生徒向けの配付物は、できる限りルビ付	きにしている。
11 向の岡工業高等学校	夜間定時制
「外国につながりのある生徒への学習支	援員派遣事業」を活用し、学習支援及び保護者対応を
行っている。	
12 向の岡工業高等学校	
「通訳支援事業」を活用し、三者面談等	で保護者対応を行っている。
13 横須賀高等学校	
学習支援員や学習サポート員を活用して	
14 神奈川県立追浜高等学校	
	サポート員)が行っている。 $1 \sim 3$ 年の $T$ T授業では
	授業プリント等にはルビをふって対応している。
15 湘南高等学校	
	5生徒への派遣事業である学習支援員と、定時制通信
制教育推進のための配置事業である学習サ	
16 平塚商業高等学校	
	Ⅰ・Ⅱ」を設定し、日本語支援を行っている。また、
	の対応を行っている。学習サポート員の支援により、
授業時間以外に、補習という形で日本語検	
17 秦野総合高等学校	
定期テスト及び日常的に授業で使用する	
18 秦野総合高等学校	
	本語の指導が必要な生徒」は、その程度により学習
サポート員や学習支援員を活用し、対応し 19 伊勢原高等学校	を できました。
	川担任に英語科教員を配置し、学校生活に必要な諸連
絡を英語で伝えられるようにしている。	別点はに突曲付款負を配置し、子以工作に必要な確定
20 小田原城北工業高等学校	夜間定時制
学習プリントや試験問題にふりがなを振	
21 厚木清南高等学校	夜間定時制(フレキシブルスクール(特別な時間))
	ド常勤講師がつき、取り出しの授業とに活用している。 ・
	て、学習支援員として日本語支援の補助をお願いして
いる。(年間6,300分)	
22 相模向陽館高等学校	昼間定時制
段階的な日本語支援のための学校設定科	1 1 1
23 相模向陽館高等学校	昼間定時制
1,2年次では日本語力に応じて、個別	対応(取り出し)授業を行っている。
24 相模向陽館高等学校	昼間定時制
3年次以上ではTTや学習支援員による	
25 相模向陽館高等学校	昼間定時制
保護者面談などでの通訳支援	
26 神奈川総合産業高等学校	夜間定時制
5科目(国語総合、日本史A、現代社会、	科学と人間生活、保健)で取り出し授業を行っている。

27 神奈川総合産業高等学校 夜間定時制

数学I、総合的な学習の時間において、授業中に学習支援員がサポートをしている。

28 神奈川総合産業高等学校 夜間定時制

保護者面談の際に、通訳を入れている。

29 津久井高等学校

夜間定時制

外国籍生徒に対しての日本語指導

定時制・通信制教育推進のための学習サポート員配置事業を活用して、日本語教育能力に関する 資格を有した学習サポート員を雇用し、不登校傾向のある外国籍生徒に対しての日本語指導 (取り出し授業)及びその教材作成・準備を担当してもらった。本人の日本語能力の向上と ともに、信頼できる相談相手ができたことにより不登校傾向が無くなった。また、他の教員も 当該生徒への教科指導及び日常のコミュニケーションがスムーズに行えるようになった。

30 横浜明朋高等学校

1年次において日本語指導が必要な生徒が在籍するクラスの授業を複数教員で担当する TT を 実施している。

試験問題等へのルビふりを行っている。

### (4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 神奈川県立横浜翠嵐高等学校 夜間定時制

教頭と教育相談コーディネーターと養護教諭が月に2・3回定期的に情報交換し、当該生徒の 状況に応じてSC、スクールソーシャルワーカー、横浜市内各区役所生活保護課教育支援専門員、 横浜市内各児童相談所などと連携し、担任とともに適切な支援を行えるようにしている。

教育相談コーディネーターが中心となり、必要に応じてケース会議を行い、教頭と養護教諭と 当該生徒の学年の教員並びに教科担当などが情報を共有し、適切な支援を検討し、行っている。 また、年に2回全教員で生徒情報交換会を行い、必要に応じて情報を共有し、適切な支援を 行えるようにしている。

2 希望ケ丘高等学校 夜間定時制

週2回、スクールソーシャルワーカーが来ており、生徒の相談にのってもらっている。生活 保護、保護者の不安定な精神状態、生徒本人の就職活動などが絡んだ事例について助言を もらっている。

3 横浜修悠館高等学校 通信制

日曜講座は、1 単位 350 円、平日講座は1 単位 700 円と安価なため、大きな問題にはなっていない。多種の奨学金を募集しており、申込者も多い。教科書代金の還付請求もある。

4 横浜修悠館高等学校 通信制

日曜講座は、1 単位 350 円、平日講座は1 単位 700 円と安価なため、大きな問題にはなっていない。多種の奨学金を募集しており、申込者も多い。教科書代金の還付請求もある。

5 機子工業高等学校 夜間定時制

小学3年で特別支援級に通う子をもつ生徒(母)について、生徒本人も精神疾患・腎臓疾患を抱えており、児童相談所主催の要対協個別検討ケース会議に子の預かり施設である子ども家庭支援センターを初めとして区役所、小学校とともに参加(担任・SSW)している。(再掲)

6 横須賀高等学校 夜間定時制

SSWを活用し生徒の生活状況に応じて必要な支援を受けることができるようサポートしている。

7 秦野総合高等学校 夜間定時制

スクールソーシャルワーカーを活用し、市役所との連携や生活福祉課との連携を図りたいが、なかなか難しい現状がある。

小田原城北工業高等学校 夜間定時制 各種奨学金の案内を行っているほか、私費を一括で支払えない生徒については分割払いで 支払いを行っている。 相模向陽館高等学校 昼間定時制 SSWを通じて行政や福祉に繋ぎ、個別に対応している。 10 相模向陽館高等学校 昼間定時制 事務室と連携し、就学支援金の申請手続きなどきめ細やかな支援をしている。 津久井高等学校 夜間定時制 給付型奨学金 神奈川県立高等学校安全振興会修学奨励生給付(月額6,000円、1名) 日本教育公務員弘済会高等学校給付奨学生(年額60,000円、2名) 津久井高校奨学生給付金(年額50,000円、1名) ※ 同窓会が運営 12 横浜明朋高等学校 昼間定時制 拠点校として週に2回スクールソーシャルワーカーが派遣されており、横浜市の区役所に配 置されている生活支援員等と連携しながら支援している。

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の	学習ニーズ	
N 古然光表	(細和釜町、豆即ウ味畑 / 左即ウ味畑 / 不停地)	
No 高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)	
1 神奈川県立横浜翠嵐高等学校	夜間定時制	
教頭と教育相談コーディネーターと養護	教諭が月に2・3回定期的に情報交換し、当該生徒の	
状況に応じてSC、スクールソーシャルワ	7ーカー、県教委学校支援課、横浜市内各児童相談所、	
保護監察官・保護司、県警各警察署など	と連携し、担任とともに適切な支援を行えるように	
している。		
教育相談コーディネーターが中心となり	、必要に応じてケース会議を行い、教頭と養護教諭と	
当該生徒の学年の教員並びに教科担当なと	ごが情報を共有し、適切な支援を検討し、行っている。	
また、年に2回全教員で生徒情報交換会	を行い、必要に応じて情報を共有し、適切な支援を	
行えるようにしている。		
2 横浜修悠館高等学校	通信制	
個別の非行歴や犯罪歴は集約していない	ハが、支援連絡会を設置して、学警連や近隣中学校と	
連携している。		
3 湘南高等学校	夜間定時制	
鑑別所や少年院に入った場合は必ず教員	」 『が面談に行き、その後の学校での指導に生かす。	
4 相模向陽館高等学校		
	こ対し、保護者と連絡を取り合いながら履修指導等を	
行い、復学に向けた支援を行った。		
5 相模向陽館高等学校		
1 11120 3120 31	退学を結論付けることはせず、粘り強く、立ち直り	
支援を行っている。		
6 三浦初声高等学校		
SSWを窓口として児童相談所と連携して	1 = 1.00 - 3.10	
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	

### 【川崎市】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 川崎市立橘高等学校 夜間定時制

学校設定科目:基礎計算(1学年・1単位)、基礎国語(2学年・2単位)を開講して、それぞれ、基本的な計算問題や、漢字問題の振返り学習を行っている。

2 川崎市立川崎総合科学高等学校

夜間定時制

学級担任、副担任による家庭訪問等を通した保護者との連携から生徒及び家庭の状況を把握しています。特に卒業中学校訪問等による当該生徒の情報共有は大変有効であり、教職員間でも情報共有をしている。何より生徒に寄り添う丁寧な教科指導に心がけ、少人数クラスや個別指導で対応している。

3 川崎市立川崎高等学校

昼間定時制・夜間定時制

中学校時代に不登校を経験している生徒が多数在籍しており、高校入学後には自尊心を高めるプログラムを実施。また市教委の自立支援事業で校内にカフェ形式の居場所づくりを実施。

### (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 川崎市立橘高等学校 夜間定時制

市を通してNPO団体から派遣された特別支援教育サポーターが特別支援級出身の生徒と 車イス生徒のために週1回それぞれに学習サポートと車イスによる移動のサポートを行っている。

2 川崎市立川崎総合科学高等学校

夜間定時制

学級担任、副担任による家庭訪問等を通した保護者との連携から生徒及び家庭の状況を把握しています。特に卒業中学校訪問等による当該生徒の情報共有は大変有効であり、教職員間でも情報共有をしてる。そして、必要な支援についてはケース会議、スクールカウンセラー、管理職等で情報共有し、能力に応じた粘り強い教科指導に心がけ少人数クラスや個別指導で対応している。

3 川崎市立高津高等学校

夜間定時制

- ・アスペルガー症候群の生徒に月に4回 NPO 法人から支援サポーターを派遣してもらっている。 主に各種行事や体育など座学以外の活動時にサポートしてもらい、本人をはじめ周囲の生徒が安 心して過ごせるようになってきている。
- ・校内でカンファレンスを開催し、保護者、生徒本人、県と区の福祉担当者、生徒が生活をしているグループホームの職員、幼いころから寄り添ってきた NPO 支援団体職員、支援サポーター、学校教職員が出席し、現況を確認しながら、今後の目標や方針を話し合っている。
- ・安定した生活基盤を作り、本人の希望を尊重しながら、進路選択を進めてきている。

4 川崎市立川崎高等学校

昼間定時制

自閉傾向が強く教室に入れない生徒に対し、教室内にパーテーションを設置し、パーテーションの中で授業に参加している。

### (3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 川崎市立橘高等学校 夜間定時制

フィリピン国籍と日本人とフィリピン人が4月当初対象者で週1回、始業前と放課後に市から派遣された日本語指導の非常勤講師が日本語の読み書きを指導していたが、一人は、6月帰国、一人は、9月から他県へ転学してしまい、日本語指導は今年度については終了した。

2 川崎市立川崎総合科学高等学校

夜間定時制

卒業中学校との情報共有による学級担任、副担任による生徒及び家庭の状況を把握している。 教職員間での情報共有、母国語に合わせた日本語指導(非常勤講師対応)等に取り組んでいる。 現在は特別に支援の必要な生徒は在籍していない。

3 川崎市立高津高等学校

夜間定時制

・週に1回、日本語非常勤講師の指導の下、レベルに応じた学習をしている。

4 川崎市立川崎高等学校

昼間定時制 · 夜間定時制

フィリピン国籍のタガログ語を母語とする生徒が多数在籍。日本語指導の講師等を活用し、日本語力の向上を目指すとともに、定期考査等はルビ付き問題用紙を用意する等の配慮を行っている。

### (4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

 No
 高等学校名
 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

 1
 川崎市立橘高等学校
 夜間定時制

ネグレクトで生活費も与えないまま母親が失踪してしまったため、児童相談所に保護された 生徒に対して市役所福祉課と連携して、経済的な支援の手立てを考えながら学校として学習支援や 面会による指導を行っている。

2 川崎市立川崎総合科学高等学校

夜間定時制

学級担任、副担任による家庭訪問等を通した保護者との連携から生徒及び家庭の状況を把握している。特に卒業中学校訪問等による当該生徒の情報共有は大変有効であり、教職員間でも情報共有をしている。特に支援の必要な場合は、教育委員会指導課区教育担当経由で区役所保護課と情報共有し多角的に対応している。

3 川崎市立高津高等学校

夜間定時制

- ・地域のNPO団体が主催する寺子屋事業を生徒に周知し、学習、食事等の支援を得た生徒がいた。
- ・自立支援事業のために週に1回来校しているスタッフが、定期試験前と定期試験中に学習支援カフェを開いている。

4 | 川崎市立川崎高等学校

昼間定時制・夜間定時制

保護者が収入を税務署に未申告等の理由により修学支援金、奨学給付金等の支給を受けられない 生徒に対し、アルバイトを紹介し、修行を支援。卒業後の生徒自身の自立を支援している。

### (5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 川崎市立橘高等学校 夜間定時制

逮捕され、鑑別所に拘留されていた生徒に対して、担任や管理職が面会に行くなどしながら、 退所後も普段通り学校へ通えるよう図っている。

2 川崎市立川崎総合科学高等学校

夜間定時制

卒業中学校と管理職間からこれまでの当該生徒、保護者、友人関係、非行歴等の状況を把握し、 指導に生かしている。

教育委員会指導課区教育担当経由で区役所保護課、児童相談センター等とも情報共有を行い、 多角的な指導に取り組んでいる。

3 川崎市立高津高等学校

夜間定時制

・児童相談所の職員と連携を図りながら、教職員が児童相談所を訪問し、学習教材のやり取りを行った。定期考査中は児童相談所で、定期考査を実施し、生徒が不利にならないように配慮した。

### 【山梨県】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

#### 1 山梨高校

現在本校に通う多くの生徒が不登校経験者である。学校設定科目を開講しての対応はないが、どの教科・科目も、

- ① 中学校で学ぶ基礎的・基本的な知識・技能は習得できていない
- ② 学習習慣は身についていない
- ③ 基本的な生活習慣も身についていない

という前提に基づいて指導計画を立てている。各定期試験を受けての成績も観点別評価を徹底し、 授業の中で「できたこと・やったこと」をこまめに評価している。

また授業の内容については、数学・理科・英語を中心に中学校の学び直しを行っている。

さらに国語・数学・英語は非常勤講師により、国英は少人数授業(1年次8人・2年次7人・3年次9人を2つのパートに分けている)、数学はチームティーチング(1年次8人・2年次7人・3年次9人を2人の教員が担当)を行っている。今後も個に応じた指導の実現を継続して行く予定である。

# (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)
	. —	

1 山梨高校

昨年度在籍していた生徒 1 名が該当する。市の福祉課と連携し、療育手帳の交付をリードし、 市の相談員の紹介で現在も通っている、障がい者就労支援事業所につながった。

2 中央高校

県教委から平成30・31年度の2年間、「高等学校における通級による指導実践研究校事業」 の指定を受け、通級におけるSSTを中心とした授業を展開している。

# (4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)
1	山梨高校	

市の子育て支援課と連携している。2年次生2名、3年次生1名の 合計3名が対象である。2年次生1名については別の市に引っ越した後も引き続いて面倒を見ていただいている。学習ニーズに直接応えるというのではなく、生活をしっかり見守ることが学校生活にもプラスに働くという共通理解である。学校生活に変化があればそれは家庭生活の影響かもしれないというスタンスで、逆に学校生活をそれなりに送れていれば家庭生活も安定しているものとみなしている。それだけに学校生活で何かあれば、子育て支援課に連絡して協力して対応することになっている。

### 【長野県】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 長野県長野商業高等学校

夜間定時制

- ・学校設定科目:教養を開設して振り返り学習をしている。
- 2 長野県長野吉田高等学校戸隠分校 | 昼間定時制
- ・総合的な学習の時間のなかで、地域の方々を講師に迎えて体験的な授業ができる講座を多く設定している。
- 3 長野県長野工業高等学校 夜間定時制
- ・就職に対する意識付けとして株式会社コミュニケーションズアイのキャリアコンサルタント高 橋智也さんに就職に関する出前授業を年4回行っていただいた。
- ・黒板の板書がうまくノートに書き写せない生徒たちに対して、電子黒板とタブレットを使った 授業を行い、生徒たちの理解度について調べている。
- 4 長野県篠ノ井高等学校 夜間定時制
- ・きめ細やかな学習指導をおこない、そのことに対する在校生の満足度も高い。
- ・必要に応じて補習授業をおこない、テスト勉強に充てている。
- 5 長野県上田高等学校 夜間定時制
- ・1~3年の数学と英語で習熟度別授業(基礎・標準の 2 講座展開)を実施している。また、1 年の数学のうち、基礎講座には学習支援員も加わって2名体制で指導している。
- 学習支援員は、県の「補習等のための指導員等派遣事業」により配置されている。人数:1名、配置時間数:年間25時間。
- 6 長野県東御清翔高等学校 昼間定時制
- ・学校設定科目、ベーシック国語・数学・英語を1年次に各1単位開講して、振り返り学習を行っている。
- 7 | 長野県飯田OIDE長姫高等学校 | 夜間定時制
- ・学校設定科目「ベーシック講座」を週2回開講し、英・数・国の小中学校の学び直しの学習を 行っている。
- 8 長野県松本筑摩高等学校 昼間定時制
- ・中学校の授業内容や基礎的な内容の学び直しのできる科目を国・数・英で学校設定科目として 展開
- 9 長野県松本筑摩高等学校 通信制
- ・個別支援のしくみ (①学習相談室、②個別の指導を一定の基準内で必要面接時間として換算する、 ③職員室の教員の机の間に生徒用の机を置いて個別指導を受けやすくしている等)を設けている。
- ・学習面の困難を抱えている生徒が試験というハードルを乗り越えられるように、定期テスト→ 追テスト→特設テスト→個人指導という段階的指導を行っている。
- ・精神疾患と家庭の問題を抱え、自死のリスクが懸念された生徒について、医療機関との連携(学校からは服薬の状況、家族との葛藤等、医師からは見えにくい問題に関する情報提供。医師からは、学校の対応に関する助言。)、市町村の家庭支援担当部署との連携(個別相談を通じての母親支援)を行うとともに、本人に対しては、保健室を核としたピアサポート的な支援を行い、現時点では、落ち着いた生活を送っている。
- ・1 か月に1回、精神科医の相談日を設け、生徒・保護者・担任等が利用しており、生徒が医療につながる契機となっている。

### 長野県池田工業高等学校 夜間定時制

・学校設定科目「ベイシック」を開講して、中学からの学習で不足する部分の補充、各種検定な どの資格取得や併修受講者の個別学習を、希望者対象に実施している。

#### 11 長野県諏訪実業高等学校

夜間定時制

・数学と英語については、各学年それぞれ2講座展開を行い、生徒の習熟度に合わせた授業を工 夫している。

#### 長野県木曽青峰高等学校 夜間定時制 12

・特別な支援を必要とする生徒(発達障がい認定等の生徒)に対して、行政福祉課、児童相談所、 医療、地域障害者センター、就労移行作業所、ハローワーク、障害者職業センター、障害者就労・ 生活支援センター等の関係機関と支援会議を重ね、学習面のアドバイス(遅刻・早退が多い、チ ームを組めない、挨拶、身だしなみの基本)や、就労支援として職業適性検査、療育手帳を取得、 さらにインターンシップを重ねて、具体的な就労を見据えた取り組みを実施している。

#### 13 地球環境高等学校

| 通信制

・基礎学力定着の目的から設定している「基礎数学」、「数学活用」は単位修得につなげることが できている。また、限られた面接授業時間を補うための補助プリントや、視聴覚的な効果を高め る教材を作成し、個々への丁寧で解りやすい添削や個別指導を継続し、新たな教材の研究や面接 授業の工夫に取り組んでいる。さらに、スクーリング以外の学習機会・レポート提出後に指導期 間を設ける締切設定の改善を行っている。

### (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

高等学校名 No

(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 長野県長野商業高等学校 |夜間定時制

- 板書を大きく書き、ふりがなを付けている。
- ・養育手帳を持っている生徒の就労支援を、ハローワークと連携して進めた。
- 長野県長野吉田高等学校戸隠分校 昼間定時制
- ・信州大学で臨床心理学を学ぶ大学院ゼミと連携し、各種知能検査や性格検査、カウンセリング等 を定期的に実施している。

#### 長野県上田高等学校

夜間定時制

・発達障害を抱える生徒について、市福祉課家庭児童相談員・スクールカウンセラー・スクールソ ーシャルワーカーとも連携し、生徒への指導内容をあらゆる角度から検討を繰り返しながら、サポ ートしている。

#### 長野県東御清翔高等学校

| 昼間定時制

・発達障がいのある生徒でイヤーマフを必要とする生徒について、日常及び授業中の使用を認めて いる。

#### 長野県箕輪進修高等学校

|夜間定時制

・平成30年度より、知的障がいを除く発達障がいのある生徒に対する通級による指導を実施。 (対象生徒数7名 全校生徒361名) 対象生徒への指導は本校教諭が行っているが、指導内容 専門性を担保するために近隣の特別支援学校教員による助言・支援を週に2日受けている。

### 6 | 長野県飯田OIDE長姫高等学校

|夜間定時制

・必要に応じて障がい者支援センター、市町村子ども支援課等の外部機関と連携し、迅速にチーム 会議を開き、個々の生徒により適した合理的配慮等の支援ができるようにしている。

#### 長野県池田工業高等学校 夜間定時制

・極度の緊張による意識を失うナルコレプシーの生徒について、本人の希望により、定期考査は別 室で受験して、不安を取り除いている。

#### 長野県上田千曲高等学校 夜間定時制

・発達障害で他人の関係をうまく構築できない生徒に関して、SSW を通して発達障害サポートマネ ージャーと連携し支援している。

#### 長野県松本筑摩高等学校

**昼間定時制** 

- ・少人数でのHRや講座の展開
- ・障がいの特性と対処方法の理解のための研修
- 相談体制の整備(専任の相談室担当教員、SC)
- ・安心して時間を過ごせる(休憩できる)場所の提供
- ・ミニ研修会として職員会後、各教科での取り組み事例の紹介

#### 長野県松本筑摩高等学校 10

|夜間定時制

・県の特別支援教育研究の指定校として、発達障害の専門家が平日2時間程度常駐している。研修 の開催や日常的に発達障害の生徒対応の相談が出来るほか、新入生全員の個別面談による特性の把 握や授業時間外の個別指導も実施している。

#### 長野県長野西高等学校 11

通信制

- ・車椅子等を利用する生徒が3名登校しているが、体育の授業等はレポートにより代替している。 また、時間割によっては動けない時間帯にあたる場合は、ほかの時間で同様に実施している。 試験は別室を設けて実施している。
- ・登校日には相談員が常駐し、生徒・保護者との相談・カウンセリングを行っている。生徒の状況 により、適宜外部関係機関とも連絡をとっている。

### 地球環境高等学校

|通信制

・特別な支援を必要とする生徒(発達障がい認定等の生徒)に対して、行政福祉課、児童相談所、 医療、地域障害者センター、就労移行作業所、ハローワーク、障害者職業センター、障害者就労・ 生活支援センター等の関係機関と支援会議を重ね、学習面のアドバイス(遅刻・早退が多い、チー ムを組めない、挨拶、身だしなみの基本)や、就労支援として職業適性検査、療育手帳を取得、さ らにインターンシップを重ねて、具体的な就労を見据えた取り組みを実施している。

# (3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制) No

- 長野県長野商業高等学校 |夜間定時制
- ・高校生活支援相談員に週2時間、国語総合の時間に取り出し授業をお願いしている。テストも別 のものを用意し、国語総合として単位認定している。
- 2 | 長野県長野工業高等学校

夜間定時制

- ・日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業を行っている。
- 長野県東御清翔高等学校

昼間定時制

・総務省の情報通信利用促進支援事業(3年間)に参画している企業と連携して、日本語の読み書 きが困難な生徒に対して、タブレットを使用しての個別指導を行っている。

#### 長野県箕輪進修高等学校 | 昼間・夜間定時制

・県教委の「日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業」を活用し、高校生活支援相談人に よる日本語の基本的学習個別支援を実施している。(週1日・対象者3名)

- 5 長野県飯田OIDE長姫高等学校 夜間定時制
- ・県の支援事業を利用して、生活支援相談員が取り出し授業を行い、日本語指導・進学等に係る指導をしていただいている。
- ・授業用配布プリント、定期テスト等必要に応じてフリガナを付けるなどのサポートをしている。
- 6 長野県諏訪実業高等学校 夜間定時制
- ・県が取り組む「日本語不自由な生徒のための高校生活支援相談員活用事業」を利用し、2名の外国籍生徒が週1時間総合の時間に日本語指導を受けている。
- 7 長野県松本筑摩高等学校 夜間定時制
- ・県内企業による総務省補助金事業「学習支援システムの研究開発」に協力し、読むことに困難の ある生徒へのタブレットによる学習支援を行っている。教科書や配付プリントをデータ化し、タブ レット内でルビ表示や音声再生をすることによって文章の理解補助をしている。

(4)経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ				
No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)		
1	長野県松本筑摩高等学校	昼間定時制		
• 7	・市町村関係の担当部署との連携(SSW等の活用)			
2	長野県上田千曲高等学校	夜間定時制		
・日中の就業について、積極的に勧め、場合によっては就業先の紹介も行っている。その結果就				
業率は8割を超えている。				
3	地球環境高等学校	通信制		
・学費納入の困難な家庭には、就学支援金による学費軽減、提携の教育ローン、県の奨学金の紹				
介、	さらには行政の福祉課と相談、支払い	計画を策定するなどのサポートをしている。		
4	さくら国際高等学校	通信制		
• 7	本校地元の篤志家からの寄付によって倉	設した「さくら育英会奨学基金」による学費の支援		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ			
No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)	
1	県内すべての高等学校		
• 🚊	・学校・警察連絡協議会の制度がある		
2	松本筑摩高等学校	昼間定時制	
• <b></b>	・警察や児童相談所(児童園)との連携		

### 【新潟県】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別: 昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 新潟県立西新発田高等学校 昼間定時制

「学び直し」の学校設定科目(ベーシック国語、ベーシック数学、ベーシック英語)の開講。 30 分授業・習熟度別授業(国総、数 I 、C E I )による個に応じたわかる授業の実践。

2 | 新潟県立新発田南高等学校豊浦分校 | 昼間定時制

授業担当者の指示監督のもとで、保健室等他の教室において他生徒と共通の課題等に取り組むとき、授業教室に在室している場合と同様の教育効果が認められる場合、出席として取り扱う。

3 新潟県立荒川高等学校 昼間定時制

高校入学時に中学校との情報交換を密にし、また、入学後には教育相談面談を行い、生徒や保護者のニーズを聞き取り、教職員全員で生徒に関する情報を共有する。

4 新潟県立長岡明徳高等学校 昼間定時制・夜間定時制

不登校や中途退学をはじめ、多様な学習歴を持った生徒が在籍していることから、国語、数学、 英語の授業において、進路別・習熟度別にクラスを編成するなど、基礎学力の向上に重きを 置いた授業を展開している。

5 新潟県立堀之内高等学校 昼間定時制

中学校時代に不登校等のため基礎学力の定着が厳しい生徒が多く在籍しているため学び直しのための科目を用意している。成績不振者の対応として補習期間を設定している。

- 6 新潟県立出雲崎高等学校 昼間定時制
- ・1年次の国語、数学、英語は少人数・習熟度別授業を実施。上級年次でも、難易度の異なる 選択科目を設定。
- ・必履修科目の一部を、上級年次でも履修できるようにカリキュラムを工夫。
- 7 新潟県立高田南城高等学校 | 昼間定時制

国語・数学・英語については、クラスを2展開にした習熟度別授業を実施している。

8 新潟県立高田南城高等学校 通信制

自己理解・他者理解を促し、自己の在り方・生き方を見つめ直すためのコミュニケーションセミナー(特別活動)を実施している。

- 9 新潟県立佐渡高等学校相川分校 | 昼間定時制
- ・学校設定科目: クエスト(教養英数)を開講して、数学と英語について中学校レベルの基礎学力の定着を図っている。
- ・数学 I と C E I について、習熟度別少人数授業を展開し、基礎学力の定着を図っている。
- ・全ての教科において、少しでも生徒の基礎学力を向上させるために、生徒と教師の距離を できるだけ縮め、学習に対する不安感を取り除きながら「分かる授業」を展開できるように全 教職員で配慮している。

10 開志学園高等学校 通信制

・スタディサプリを活用し、朝学習で基礎学力の定着を図っている。

11 | 長岡英智高等学校 | 通信制

通学コース(週4日登校)と通信教育コースの2コース制により個々の学習ニーズに合わせた 高校生活を送りなるべく3年間で卒業をさせる。

### (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

- 1 新潟県立新潟翠江高等学校 通信制
- ・平成28年度、29年度の2年間、車いす使用の生徒が在籍していたことにより、現在も新潟県所有の「車いす階段昇降機」が配置されている。
- ・毎月のスクーリング日にジョブカフェ「Café4610(よろっと)」を開設し、働くことに課題や困難を抱える生徒たちの就労支援を行っている。就労支援コーディネーター1名を私費で雇用し、その繋がりで県内各地域の若者サポートステーションから「おせっかいサポーター」(ボランティアスタッフ)が  $1 \sim 3$ 名来校し、生徒たちの相談に応じている。
- 2 新潟県立新発田南高等学校豊浦分校 昼間定時制

発達障害などの影響により常時在籍教室に待機できない生徒に対し、待機室やクールダウンの ための部屋を用意している。

3 新潟県立荒川高等学校 昼間定時制

発達障害の疑いのある生徒に対して、SSW、市町村福祉課、医療機関等専門機関と連携して、自己理解を深め、療育手帳取得を促し、福祉就労の支援を行った。

- 4 新潟県立長岡明徳高等学校 昼間定時制・夜間定時制
- ・平成30年度より「通級による指導」を開始し、コミュニケーションスキル等の向上を目指した授業を展開している。
- ・全教職員がユニバーサルデザイン化の必要性を共有しており、廊下や教室の掲示方法や授業でのチョークの使い方等において共通理解を図っている。
- 5 新潟県立堀之内高等学校 昼間定時制

特別支援委員会を中心として丁寧に生徒や保護者に聞き取りをしながら悩みの解決に向け対応している。特に、面談週間の設定や各種機関との連携を行い、情報の共有に力を入れている。

6 新潟県立十日町高等学校 夜間定時制

特別な支援が必要な生徒に対して、市役所の市民福祉部、医療機関、SC、SSWと連携しながら、進級・卒業・就業に向けて取り組んでいる。

- 7 新潟県立出雲崎高等学校 昼間定時制
- ・支援教育部より「特別な支援が必要な生徒への対応〜お願い〜」や本校の特別支援教育の取組をまとめた冊子を全教職員に配付し、授業・学習での配慮やテストの工夫、指示の仕方などのポイントを共有。
- ・年度始を含め年3回「生徒理解の会」を実施し、個々の生徒の状況を確認。必要に応じケース会議を実施し、支援の方策を検討。
- 8 新潟県立高田南城高等学校 昼間定時制
- ・特別な支援を必要とする生徒に係る情報を全職員で共有するとともに、必要に応じて、関係 外部機関とも連携しながら指導に当たっている。
- ・以前は階段昇降機を設置していた時期があるが、現在は施設・設備面では特に対応していない。
- 9 新潟県立高田南城高等学校 通信制

特別な支援を必要とする生徒に係る情報を全職員で共有するとともに、必要に応じて、関係外部機関とも連携しながら指導に当たっている。

10 新潟県立佐渡高等学校相川分校 | 昼間定時制

50分間の授業で集中力が続かず大声や奇声を発したりする生徒への対応として、クールダウンを促すために多目的ホールを常時開放している。

11 新潟市立明鏡高等学校 昼間定時制・夜間定時制

長岡英智高等学校 通信制

保護者に対し積極的に申込を働きかけている。

いる。

- ・人間関係力、コミュニケーション力、社会のルールやマナーを身に付けたい生徒に対して、 通級指導(自校)を行っている。
- ・授業のUD化により、わかりやすい授業、きめ細かな指導を行っている。
- 12 開志学園高等学校 通信制
- ・読字障害を持つ生徒に対して、ふりがなを付けた試験問題を用意している。
- ・情報の授業で、アルファベットの認識ができない生徒に対してアルファベット表を配布し、 個別に教員を付けて対応した。
- 13 長岡英智高等学校 通信制

連携支援シートの内容を共有し個々の学習ニーズに応じたきめ細やかな教科指導を行っている。 平成28年度より「公文式学習(計算)」を導入し躓いているところからの学び直しを行っている。

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ		
No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)
1	新潟県立荒川高等学校	昼間定時制
	外国籍の生徒には、プリントにルビをふ	る。また、授業や普段の会話から「やさしい日本語」
を	利用するようこころがけ、日本語の理解	を促進した。
2	新潟県立十日町高等学校	夜間定時制
中学3年時に来日した生徒に対し、担任が簡単な日本語の学習プリントを課している。授業では		
わかりやすい日本語を用いるようにしている。日本語の作文にも取り組ませている。		
3	新潟市立明鏡高等学校	昼間定時制・夜間定時制
市教育委員会から派遣された日本語指導協力員が当該生徒に対して日本語指導を行っている。		
4	開志学園高等学校	通信制
宗教上の理由で肌の露出ができない女子生徒に対して、女子用スラックスの着用を許可して		
いる。		

外国籍生徒増に伴い、学校設定科目に「日本語」を設定。中国人・フィリピン人が履修して

(4)経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ			
No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)	
1	新潟県立荒川高等学校	昼間定時制	
生徒からの訴えや生徒の観察から、生徒の家庭状況や困り感を把握し、児童相談所や市町村			
福祉課等と連携しながら保護者への支援を進めた。			
2	新潟県立出雲崎高等学校	昼間定時制	
修学旅行は費用を抑えられるよう、日程や場所を設定。			
3	新潟県立高田南城高等学校	昼間定時制	
県の修学奨励金やその他の給付型奨学金について、当該生徒保護者に対し積極的に申込を働き			
かけている。			
4	新潟県立高田南城高等学校	通信制	
県の修学奨励金やその他の給付型奨学金について、月報の発送時に案内文書を添付し、生徒			

### 5 新潟県立佐渡高等学校相川分校 昼間定時制

両親とも無職で家計が苦しく、ネグレクトに近い状況に置かれている生徒に対して、子ども若者サポートセンターや児童相談所、市役所社会福祉課援護係等と連携して、生徒を保護することも考えながら、全職員が状況を共有し支援している。

- 6 新潟市立明鏡高等学校 昼間定時制・夜間定時制
- ・行政機関等と連携して、具体的な支援を行っている。
- ・相談機関や各種奨学金を紹介している。

している。

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ				
No	高等学校名	(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)		
1	新潟県立出雲崎高等学校	昼間定時制		
牛	特別指導を行う場合も生徒の発達課題に応じて、ソーシャルスキルトレーニングの観点で作成			
して	したワークシートを用いるなど、個々の背景に配慮。			
2	新潟県立高田南城高等学校	昼間定時制		
少年サポートセンターや家庭裁判所等の関係機関と連携しながら指導を行っている。				
3	新潟県立高田南城高等学校	通信制		
少年サポートセンターや家庭裁判所、医療機関等の関係機関と連携しながら指導を行っている。				
4	新潟県立佐渡高等学校相川分校	昼間定時制		
家庭裁判所で試験観察とされた生徒に対して、弁護士や家庭裁判所の調査官の協力を得て、				
生徒本人たちの心情にも配慮しながら全職員が共通の認識を持ち、学習をはじめ様々な支援を				

#### 【富山県】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No には、 高等学校名 は、 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 志貴野高等学校

入学後にSCにより面談し、実態を把握して、担任等に伝える。さらに担任・年次から 各科目担当者に情報を提供する。学校全体で情報を共有し、きめ細かな学習指導・生徒指 導ができる。

### (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 新川みどり野高等学校

昼間定時制・夜間定時制

保護者と連絡ノートのやりとりを行う。一日の反省を記入し、保護者からコメントをもらう。保護者の声を聞く機会が増加し、本人理解につながった。

2 雄峰高等学校

夜間定時制

入学時に全ての生徒・保護者にプロフィールカードを記入してもらう。また全生徒にSCの面談を受けてもらう。生徒や家庭が抱える問題を早期に把握し、対応することができる。

3 小矢部園芸高等学校

昼間定時制

富山県高等学校巡回指導員と連携して、生徒・保護者との信頼関係を構築する。さらに。 富山県発達障害支援センター、障害児就業生活支援センター、多機能型事業所と連携して、 就業等への支援を行っている。巡回指導員から専門的な助言を得て、生徒理解が深まって いる。また、関係機関との連携できめ細かな支援や実習作業指導ができる。

#### 4 となみ野高等学校

昼間定時制 • 夜間定時制

生徒の特性を把握するためのアセスメント(情報収集、様子観察、検査等)を行い、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成するとともに、本人の特性に応じた合理的配慮の提供を行う。また、医療機関と提携して発達障害の診断や「手帳」の取得を行うことや、福祉機関と連携して、体験学習の受け入れや進路選択・決定に向けて支援を行っている。

### 【福井県】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 福井県立丸岡高等学校 昼間定時制

- ・1~3年の各教科で少人数指導を実施し、丁寧な指導を展開している。
- ・各教科が生徒に身につけさせたい基礎学力をスモールステップの課題を通して定着させていこうという取り組みを学校全体で行っている。生徒の学習意欲にもよい影響を与えている。 比較的学力がある生徒は検定合格という目標があることで積極的に自分の力を向上させようとし、その姿を見て他の生徒も頑張るという相乗効果が現れている。さらに合格することが生徒の自信につながっている。

2 福井県立大野高等学校 昼間定時制

- ・関係機関の協力を得て心理士によるカウンセリングを受けたり、高卒認定試験を受けて単位を 補充したりしている生徒がいる。
- ・生徒理解協議会を年3回開き、一人ひとりの生徒について共通理解を図っている。
- ・各学年で国・数・英を中心に少人数講座で基礎学力の定着を目指している。
- 3 福井県立道守高等学校 中間定時制・夜間定時制
- ・少人数指導を行い、きめ細かい指導を行っている。
- ・総合的な学習の時間に、読む力、書く力、計算力などにおける基本的な学習をし、基礎学力の定着を図っている。
- ・授業担当者会議やケース会議等を行い、不登校の改善を図っている。
- 4 福井県立鯖江高等学校 昼間定時制
- ・少人数でアットホームな雰囲気の中で授業を受けることで、生徒と教員とのコミュニケーションが 密にすることで信頼関係が構築されやすくなり、学習成績も向上している。
- 5 福井県立武生高等学校 昼間定時制
- ・本校には、九九やアルファベットの記述が定着していないなど、学力が十分に身についていない生徒がおり、数学については、現在、学校設定科目を開校しているほか、次年度から 習熟度別の授業を検討している。
- 6 福井県立敦賀高等学校 昼間定時制
- ・放課後、各教科の理解を進めるために希望者に補講を行っている(30~40分程度)。
- 7 福井県立道守高等学校 通信制
- ・学期始めの情報交換会や学期中の事例検討会を通して、生徒に対しての共通認識を持つと ともに単位修得につながる具体的な支援策を検討しているほか、気になる生徒の行動については、 生徒支援シートに書き込み教職員間での情報の共有を図っている。
- •2回連続で欠席した生徒には担任からの要請によって相談係が手紙を出し、不登校状態にさせない工夫や保護者対象の保護者のつどいなどを定期的に開催して学校とのつながりを保つとともに保護者の不安を和らげる試みなども行っている。
- ・日曜、月曜のスクーリング以外にも水曜日を学習支援の日として、レポートの分からない 所などを質問に来る個別指導の日としている。

### (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 福井県立丸岡高等学校 昼間定時制

#### 【合理的な配慮】

ディスレクシアの生徒への対応としては、本人・保護者、学校とで入学直後より継続して支援会議をおこない、合意形成を図っており、ルビを振った考査問題を実施している。また、特別支援教育センターに講師をお願いし教員を対象とした校内研修会を開き、学習につまずきがある生徒全体への理解を深めた。

#### 【通級】

昨年度中に保護者及び本人の承諾を得て、今年度より2年生1名を対象に、週に1コマ通級による授業を行っている。携帯のアプリを使った自分の生活スケジュールの具体的な管理方法や調理実習を通して献立・買い物・調理などの自立活動を学習している。また、夏季休業中には、3日間のインターンシップを2社経験し、就職に向けて、本人にとって大変有意義な活動となっている。

- 2 福井県立大野高等学校 昼間定時制
- ・今年度より始まった通級指導で、2名が奥越特別支援学校教員による巡回指導を受け、集団への参加、状況に応じたコミュニケーション、他者との関わり等について学んでいる。
- 3 福井県立道守高等学校 昼間定時制・夜間定時制
- ・車椅子生徒のために階段昇降機を設置している。トイレは洋式タイプに変更した。調理室では 車椅子でも作業できるよう高さ等を調整できる I H調理台(通常はガス対応)を準備した。 妊婦や足腰の弱い生徒のため、階段に手すりを取り付けた。
- ・SCによる教員を対象とした校内研修会を年3回実施し、発達障害や不登校等の生徒理解を 深め、効果的な指導や支援ができるよう努めている。
- 4 福井県立武生高等学校 昼間定時制
- ・発達障害(ASD, ADHD, LD, 広汎性発達障害)やうつ、解離性人格障害の診断がある生徒は13名、 その疑いを含めて約20名ほどおり、特別支援教育センター、医療機関等と連携している。
- 5 福井県立道守高等学校 通信制
- ・本校では、日曜スクーリングが基本であり3修のために設けられた月曜スクーリングに比べると受講者が多い。そのため大人数の教室に入ることのできない生徒については、全教職員の 了承のもと人数の少ない月曜スクーリングから受講させることにしている。本年度前期は、 登録した全ての科目を修得することができた。
- ・体育の実技における集団行動やペアリングなどが苦手で、体育の単位が履修(修得)できないために卒業を足踏みしている生徒については、これも全教職員の了承のもと体育の補講によって出席に替える措置を取った。本年度前期、体育の単位を修得することができた。
- ・これまでは手書きのレポートの提出しか認めてこなかったが、書字障害の生徒については、 印字したレポートの提出を認めた。
- ・性同一性障害の生徒も通学しており、使用するトイレ、生徒の名簿記載や呼称について本人 希望に配慮している。

# (3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1 福井県立大野高等学校 昼間定時制

- ・考査において、問題文にルビを振り、また試験中に巡回し質問を受けるようにしている。
- ・日本語能力試験に取り組ませ、その向上を図っている。

2 福井県立道守高等学校

| 昼間定時制・夜間定時制

・授業で使うプリントにはルビをうつ。教科担任によっては母国語である、タイ後、ベトナム語 などに、キーポイントの単語だけ変換して訳している。また、LH等で実施するアンケートや 学校行事の説明の際、口頭で説明するだけでなく、スクリーンや大型モニターにルビをうった 文章を映し出し、文章をみせながら説明する担任もいる。

福井県立武生高等学校

- ・外国籍の生徒19名のうち、3名が日本語支援が必要な生徒。そのための講座は設置して おらず、「総合的な学習の時間」の一部を利用して支援している。
- 福井県立敦賀高等学校

昼間定時制

・ルビ付きのプリントや試験問題の使用。国語教師による日本語の読み書き指導。

### (4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

高等学校名 No

(課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

1

- ・福井県定通修学奨励金対象者3名。財団法人石澤奨学金1名。約半数の生徒はアルバイトを 実施している。
- 福井県立大野高等学校

- ・福井県定通修学奨励金を2名が受給している。
- ・全体の約80%が就労している。
- ・今年度より「生活と職業Ⅰ」という学校設定科目を始めている。自己・他者理解、ストレス マネージメント、職業調べ、実習体験等を通して、自立した社会人に求められる知識と技能の 修得を目指している。
- 福井県立道守高等学校

昼間定時制・夜間定時制

- ·福井県定通修学奨励金対象者1名。
- ・52.7%の生徒がアルバイトをしている。
- ・生活保護を受給している生徒に対し、SSWを通して市役所と連携し、支払計画を策定したり、 金銭感覚を養うための指導を行ったりしている。
- 福井県立武生高等学校

昼間定時制

- ・毎月の学納金や四半期毎支払いの授業料について、年間延べ200枚の督促状を発行。県の 修学支援金の給付者が数名、就学支援金の受給者は95%、奨学給付金の対象者(非課税)が 16%。アルバイト採用の面談については、「産業人材コーディネータ」や「ふくい若者サポート ステーション」の担当者の支援を得ている。
- 福井県立敦賀高等学校

昼間定時制

- ・ハローワーク、若者サポートステーション、子育て支援センター等、外部機関との連携を とおして、アルバイトの斡旋などの就業支援や環境整備を行っている。
- ・子育て支援センター等、外部機関との連携をとおして、未納金の分割納入計画を策定しサポート している。

# (5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

高等学校名 No

(課程種別: 昼間定時制/夜間定時制/通信制)

・過去の犯罪歴は非行の実態については入試段階ではほとんど得ることができず、入学後の 入手となる。そのうち、主として発達障害による場合には、特別支援的要素(合理的配慮など) から取り組むことになるが、効果が期待しにくい場合や他生徒の学習権を侵害する怖れがある 場合には、進路変更を含めた措置も検討することとなる。

### 【岐阜県】

### (1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

(課程種別: 昼間定時制/夜間定時制/通信制) No 高等学校名

複数校より

- ・必要に応じ or 希望者に学び直しを含めた授業を実施。
- ・習熟度別授業、TT、分割授業の実施。
- 1 | 岐阜県立華陽フロンティア高等学校 | 昼間定時制 / 夜間定時制
- ・学校設定科目(1年次):「基礎教養」において、国語・数学・英語の振り返り学習を実施。
- ・学校設定科目(3年次選択):「演劇表現」において、自己表現力及びコミュニケーション能 力の育成を図る。
- ・各授業指導において、「前時の振り返り」、「目標の提示」、「本時のまとめ」を行い、毎時の学 習に入りやすく、また、学習した内容の確認がしやすいよう配慮。
- 2 |岐阜県立華陽フロンティア高等学校 |通信制
- ・学び直しの科目「ことばの基礎」「数学 I 入門」(学校設定科目)を開講。
- ・数学科では、レポート作成支援のための自作動画を配信。
- ICTを活用し、プリントの記入箇所の投影、ビデオクリップの導入を行う。
- ・スクーリング日以外に自習室へ登校してくる生徒の質問、電話やメールでの質問などを受け 付け、生徒の状況に合わせて対応。
- ・1年次生希望者を対象に4月から6月まで「学習サポート」を行い、学習システムの理解、 レポート作成についてガイダンスを行い、自学自習の基礎を培った。
- 3 | 岐阜県立岐阜商業高等学校 | 夜間定時制
- ・入学後に国数英の基礎力テストを実施し、生徒の学力実態を把握。

岐阜県立大垣商業高等学校

夜間定時制

- ・教育相談週刊を4・9・1月の年3回設定し、生徒の状況把握に努める。
- 岐阜県立大垣工業高等学校 夜間定時制
- ・1年次・2年次において、学級編成を2クラス編成としている。少人数による指導により、 きめ細かな対応が可能。特に1年次においては、学校に慣れて登校することに主眼を置いて、 生徒との教育相談時間の確保や家庭との連携を密にしている。
- 5 関市立関商工高等学校

|夜間定時制

- ・1、2年生において習熟度別授業を5教科で実施し、マンツーマンでのサポートを目指している。
- 6 | 岐阜県立東濃フロンティア高等学校 | 昼間定時制/夜間定時制
- ・学校設定科目「F国語A」「F国語B」「F社会」「F数学A」「F数学B」「F理科」「F英語」 を開講し、小・中学校での学習の学び直しができるように 5 教科、国語と数学については大学 進学のための入試に対応できる学習をそれぞれ行っている。
- 中津川市立阿木高等学校 昼間定時制

- ・「学び直し」の学校設定科目「マルチベーシック」(四修)「カルチベーション」(三修)
- ・授業及び授業環境のUD化、授業の「まとめ」の時間での「振り返り」を推進
- 8 岐阜県立飛騨高山高等学校 夜間定時制

- ・二者懇談(2回)三者懇談(3回)及び授業の様子から生徒の困り感を具体的に把握して、 特別支援教育支援員と連携し指導を行っている。
- ・授業ではプリント及び授業ファイルを活用し、学習の積み重ねが実感できるようにしている。

- 9 岐阜県立飛騨高山高等学校 通信制
- ・学校設定科目「ソーシャルスキル」(2 単位)を一年次に開講し、学校生活の中で他者とのコミュニケーションを円滑に出来、学校生活になじめる工夫をしている。
- ・個に応じた学習支援の充実のため、「水曜特別スクーリング」「夜間学習会」「個別スクーリング」を設けている。
- ・スクールカウンセラーによるカウンセリングを通じて精神面の安定を図り、学習に安定して 取り組めるよう支援。

10 ぎふ国際高等学校 通信制

・全教室にプロジェクターとスクリーンを設置し、視覚を重視した学習指導を実施。

### (2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制) 複数校より

- ・個別の教育支援計画の引継ぎ・作成・活用。
- 特別支援教育支援員による支援(巡回、声かけ、学習活動のアドバイス)、教諭との情報共有と連携。
- ・ユニバーサルデザインに配慮した授業。
- 1 岐阜県立華陽フロンティア高等学校 昼間定時制/夜間定時制
- ・教育相談室に学校カウンセラー、臨床心理士が、毎週2回来校し相談対応を行っている(予約制・無料)。また、特別支援教育支援員が常駐し、生徒・保護者への教育相談並びに対応方法等について授業担当者や学年次会が助言を受けている。
- ・考査時に手書きでの回答が難しい生徒(1名)に対して、ノートパソコンでの回答を認めている(授業ではタブレットを使用)。
- 2 岐阜県立華陽フロンティア高等学校 通信制
- ・疾病のため車いすや杖を使用する生徒のために、段差解消や手すり設置の工事を行った。
- 緊急対応が必要になると想定される生徒に対し、保護者に待機をお願いするための別室を用意。
- ・高校通級指導として、「少人数コミュニケーション講座」を開講。他校型(岐阜地区の他校の 生徒が月2回程度、日曜日に受講)。自校型(本校生徒が金曜日午前に受講。H30年度はモデル、 H31年度から本格実施予定)。
- ・H31年度から「総合的な学習の時間」に、SST的内容を追加する予定。
- 3 | 関市立関商工高等学校 | 夜間定時制
- ・授業中に自分の感情をコントロールできなくなる生徒がいて、その生徒のためにルールを作り、クールダウンできる場所を用意。
- ・知的支援を必要とする生徒について、保護者の要望があれば、ハローワークとも相談しながら手帳を利用した就職を支援。
- ・県費SC、市費SCでカウンセリングの時間数確保。SCが一年次にまず全員面談し、4、5 月の支援に生かす。共有フォルダに個々のファイルを作成し、日常の情報を集約し、指導支援に生かす。
- ・SCとキャリアカウンセラーの面談がうまくかみ合うように担当者で調整。
- 5 岐阜県立飛騨高山高等学校 夜間定時制
- ・広汎性発達障害の診断がある生徒で、視覚、聴覚に過敏があり保健室で定期考査を実施。(蛍光灯の光や人のため息等に過敏がある。)

- 6 ぎふ国際高等学校 通信制
- ・書字障がいのある生徒に対して、授業中にタブレットの使用を許可し、板書(ホワイトボード) の文字等は画像として取り込んでいる。また課題プリントや試験問題も画像として取り込み、 文字入力したものをプリントアウト(試験に関しては教員が実施)して提出させている。
- ・車いす、松葉づえを使用する生徒に対してはエレベーターの使用を許可。

### (3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

 No
 高等学校名
 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

 複数校にて

- ・プリントやテスト等の配布物にルビ(ふりがな)を付ける。
- ・日本語指導の必要な生徒に授業前や放課後に授業(個別指導)を実施。
- 1 岐阜県立加茂高等学校 夜間定時制
- ・外国人生徒適応指導員を配置し、授業の通訳や補助、保護者への通訳、生徒、保護者への配布文書の翻訳を実施。
- ・総合的な学習の時間の中で、単元の選択制を実施し、日本語習得の充実に関連した単元や学校行事として日本語によるプレゼンテーション大会を実施し、日本語習得の意識の喚起や学習の機会を設けている。
- ・生活習慣や価値観、文化等の違いによる友人間のトラブルも見られるため、該当生徒のカウンセリングや価値観、習慣等の相互理解を含めた教育相談を実施。
- ・地域の多文化共生センターと連携し、職員向けの日本語を母語としない生徒理解のための研修会や情報交換会を実施。
- ・該当国籍のカウンセラーによるカウンセリングの実施。

# (4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

 No
 高等学校名
 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

 複数校にて
 夜間定時制

- ・生徒へのアルバイトの奨励及び情報提供。
- ・市の福祉課、SSWとの情報共有と連携。
- 1 |岐阜県立華陽フロンティア高等学校 |夜間定時制 / 昼間定時制
- ・各種奨学金・給付金の説明に資料配布・掲示だけでなく WEB ページも用いて概要を周知。
- ・社会福祉士が教育相談室に月2~3回来校し、生徒家計の経済的支援について相談に応じている(予約制・無料)。

# (5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No 高等学校名 (課程種別:昼間定時制/夜間定時制/通信制)

- 1 岐阜県立岐阜商業高等学校 夜間定時制
- ・仕事をしていく上で資格があった方がよいという考えから、商業の資格取得に取り組もうとする生徒に受験を勧めて指導。
- 2 ぎふ国際高等学校 通信制
- ・停学処分となった生徒に対しては、授業には参加させ、授業後に個別で生活指導を実施。